



並木中等story

令和4年4月20日号

なめると失敗する？

頭の良い子は何でも、すぐにできてしまいがちです。作品やレポートなどを作成するにも「前と同じように作ればいいのでしょう。」と、短時間で素早く仕上げてしまう生徒がいます。しかし、そこに落とし穴があります。素早く作成できることは素晴らしいことなのですが、そこに学びが無い場合があります。同じことを2度行うだけで、考えていないのです。学びという点からすると、時間の浪費ともいえます。“同じように”ではなく、新たな工夫を入れて作品やレポートを作ることが大切です。



私は作品を評価する時に、“魂がどれだけ入っているか”というポイントでみています。綺麗にまとまっている作品でも、自らの工夫、苦労や努力が感じられ無い作品にはがっかりしてしまいます。少しくらい汚くても、“がんばって作った”と感じられるものが好きなのです。作品やレポートには、魂が入ります。なめて、安直に作ろうとするとそれが分かってしまいますよ。

《祝！SSH第3期指定》

3月末に文部科学省から連絡があり、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の第3期（令和4年度から8年度までの5年間）が承認されました。昨年12月に申請し、1月のヒアリングでの審査を経て決定を受けました。ご支援いただいた方々に御礼を申し上げます。ありがとうございました。